

第7回核破砕材料と科学研究会プログラム

場所: JRR1大会議室

日時: 2005年12月14, 15日

講演者へ

- 1 発表者は簡単なアブストラクト(A4で1枚)をご準備願います(幹事まで送付下さい)。
- 2 発表の言語は日本語または英語。日本語発表の場合、OHPは英語でお願いします。
- 3 OHPのPPTまたはそのpdf版を提出願います。CD-ROM に焼いて出席者に後日配布いたします。
- 4 持ち時間は、討論時間を含みます。一般報告では5分が一応の目安です。

12月14日

開会

時間	発表者	発表題目
		プロジェクト報告
1330-1340	大山	J-PARC報告
1340-1400	池田	中性子源開発の現状
1400-1420	Jia	中国における中性子源開発の現状
1420-1440	牧村	ミュオン標的開発の現状
1440-1505	中平	ニュートリノ標的開発の現状
1505-1525	大井川	ADS開発の現状
	以下、一般報告	
1535-1600	二川	高出力水銀ターゲットにおけるピッチング損傷の克服に向けて
1600-1620	多田(予定)	50GeVビームダンプの開発
1620-1645	菊地	鉛ビスマス核破砕ターゲット開発
1645-1710	義家	析出のある系における中性子照射損傷発達過程
1710-1740	Jia	特別講演: PIE of STIP samples
1740-1810	香山	特別講演: SiC/SiCの最近の進歩

懇親会、1830～、於、魚康(4500円)

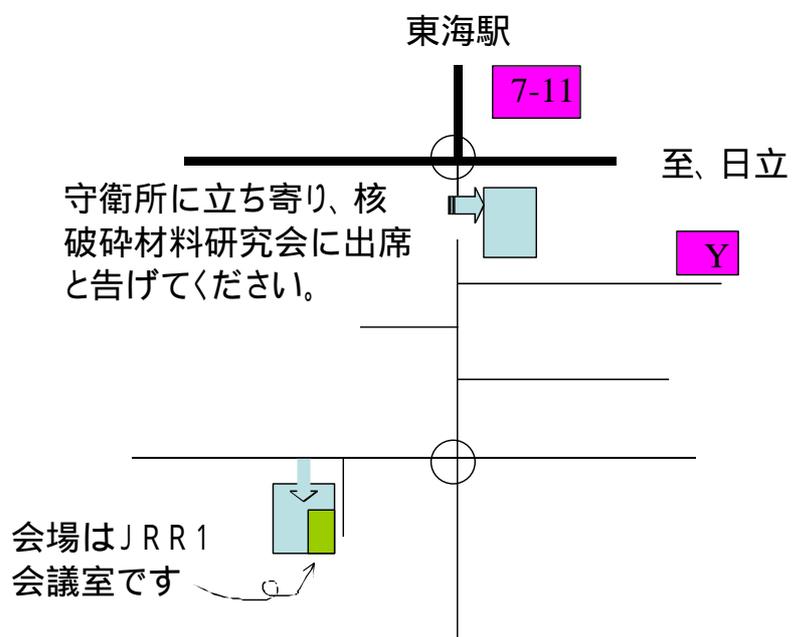
12月15日

900-925	若井	F82H鋼の照射脆化低減法の研究及び核融合炉におけるフェライト鋼研究の最近の展開
925-950	栗下	超微細結晶粒・ナノ粒子分散組織をもつ高靱性高融点金属開発の現状
950-1015	山村	溶融塩を操作媒体とした高融点耐食材料被覆、レアアースの電解析出および液体金属精製
1025-1050	甲斐	結合型水素モデレータの中性子強度空間分布測定
1050-1115	勅使河原	モデレータ材料の開発の現状
1115-1140	原田	高エネルギー粒子によるヘリウム、水素ガス生成量評価
1140-1205	中村	580MeV陽子照射された鉄鋼材料中のトリチウム挙動
1205-1230	岩切	ヘリウムバブル形成下における重水素保持・放出特性
閉会		
1330-1500		J-PARC見学

幹事: JAEA 菊地賢司(029-282-5058) [kikuchi.kenji21@jaea.go.jp](mailto:kikuchi.kenji21@jaea.go.jp)

KEK 川合将義(029-864-5637) [masayoshi.kawai@kek.jp](mailto:masayoshi.kawai@kek.jp)

会場案内図—————>



懇親会会場—————>

